

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社フェローテック  
 コード番号 6890 URL <http://www.ferrotec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 章  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 山村 丈  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3281-8186

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	31,585	8.3	247	—	447	—	560	—
25年3月期第3四半期	29,151	△41.4	△2,647	—	△3,160	—	△7,670	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,746百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △7,787百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	18.19	—
25年3月期第3四半期	△248.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第3四半期	71,549	—	34,817	—	47.9	1,113.27
25年3月期	66,343	—	30,439	—	44.9	966.10

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 34,300百万円 25年3月期 29,765百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	9.3	1,000	—	850	—	1,000	—	32.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	30,903,702 株	25年3月期	30,903,702 株
26年3月期3Q	93,424 株	25年3月期	93,424 株
26年3月期3Q	30,810,278 株	25年3月期3Q	30,807,404 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州経済は徐々に回復しており、米国経済は景気回復が順調なことから、概ね堅調に推移しています。一方、新興国の経済は一部で通貨安に転じたため、インフレ圧力が強まりましたが底堅く推移しています。我が国では、日銀の金融緩和策の継続により、個人消費や企業活動の回復など景況感も徐々に好転の兆しが見えてまいりました。

当社グループの属するエレクトロニクス産業では、半導体・FPD業界は、スマートフォンやタブレット型PCなどの需要が旺盛であり、デバイスメーカー各社の設備稼働率の上昇が見られました。太陽電池産業では、太陽電池パネルの需要が拡大し、日本・米国・中国を中心にメガソーラーや住宅への設置が継続されております。

このような事業環境のなか、当社グループの装置関連事業におきましては、各製品の販売を日米のほか、中国、台湾、韓国のアジア市場を中心に営業活動を行っており、エレクトロニクス産業に留まらず、他の産業に対しても、積極的に営業展開を行っております。

太陽電池関連事業におきましては、太陽電池用シリコン製品及び消耗品は、需要が徐々に回復に転じましたが、競争激化により価格は下落したままの状況が続きました。電子デバイス事業におきましては、当社のコア技術製品であるサーモモジュールが、自動車温調シート向けの売上高が増加し、民生用途や高機能製品も堅調に推移し、利益を牽引しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は31,585百万円（前年同期比8.3%増）、連結営業利益は247百万円（前年同期は2,647百万円の営業損失）、連結経常利益は447百万円（前年同期は3,160百万円の経常損失）となり、連結四半期純利益は560百万円（前年同期は7,670百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントにつきましては、製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」、「太陽電池関連事業」および「電子デバイス事業」の3区分を報告セグメントとして分類しております。

セグメントの状況は以下のとおりです。

#### (装置関連事業)

当該事業の主な製品は、真空シール、石英製品、セラミックス製品、シリコンウエーハ加工などです。

半導体用設備投資の遅延により、真空シールは低調に推移し、石英製品、セラミックス製品など製造プロセスに使用されるマテリアル製品は、スマートフォン用メモリやロジック系の設備稼働の上昇で需要増加となりましたが、値下げ要求が続き売上高の推移は、横ばいの状況でした。シリコンウエーハ加工は、総じて底堅く推移しました。尚、各製品の足元の状況ですが、受注は回復に転じております。

この結果、当該事業の売上高は15,540百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は141百万円（前年同期比33.1%減）となりました。

#### (太陽電池関連事業)

当該事業の主な製品は、シリコン結晶製造装置、シリコン製品、石英坩堝、角槽などです。

太陽電池産業は、中国・日本・米国市場への太陽電池パネル設置量が伸び、市場環境は着着きを取り戻しつつあります。しかし、新規のシリコン結晶製造装置の需要はなく、汎用装置やメンテナンス部品のみとなりました。消耗品である石英坩堝や角槽は、需要はあるものの価格が底値のままとなり、売上高は横ばいとなりました。また、シリコン製品をOEMに特化した結果、新たな見込み客からの引合いが増加しました。

しかし、顧客の生産調整や棚卸資産の評価損などがあり、利益面では軟調に推移しました。

この結果、当該事業の売上高は9,044百万円（前年同期比6.6%減）、営業損失は405百万円（前年同期3,029百万円の営業損失）となりました。

#### (電子デバイス事業)

当該事業の主な製品は、サーモモジュール、磁性流体などです。

主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、米国市場において自動車販売が好調であったため、堅調に推移しました。その他、検査装置、バイオ関連機器向けが底堅く推移し、美容家電や浄水器サーバー、エアコン向けなど民生分野の販売が好調でした。また、パワーデバイス用基板の量産を開始しており、拡販に努めております。

この結果、当該事業の売上高は4,689百万円（前年同期比42.1%増）、営業利益は491百万円（前年同期比156.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産>

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ5,205百万円増加し、71,549百万円となりました。これは主として、商品及び製品1,758百万円と有形固定資産2,232百万円の増加によるものであります。

<負債>

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ827百万円増加し、36,731百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金1,217百万円と短期借入金2,377百万円が増加した一方で、事業構造改革引当金1,579百万円と長期借入金1,623百万円が減少したことによるものであります。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ4,378百万円増加し、34,817百万円となりました。これは主として、為替換算調整勘定3,879百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年8月12日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,373,137	7,611,102
受取手形及び売掛金	15,235,769	15,260,100
商品及び製品	3,194,236	4,952,328
仕掛品	1,537,942	2,086,811
原材料及び貯蔵品	4,805,641	4,969,352
その他	2,710,532	3,849,846
貸倒引当金	△585,843	△656,916
流動資産合計	34,271,417	38,072,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,409,144	6,117,387
機械装置及び運搬具（純額）	10,165,156	11,469,194
工具、器具及び備品（純額）	5,980,249	6,188,899
土地	704,841	702,325
リース資産（純額）	196,474	155,550
建設仮勘定	2,459,086	2,514,377
有形固定資産合計	24,914,953	27,147,735
無形固定資産		
のれん	769,080	591,888
その他	914,423	957,564
無形固定資産合計	1,683,503	1,549,453
投資その他の資産		
その他	6,607,342	5,095,370
貸倒引当金	△1,133,396	△315,920
投資その他の資産合計	5,473,945	4,779,450
固定資産合計	32,072,403	33,476,639
資産合計	66,343,820	71,549,264

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,554,171	9,771,723
短期借入金	9,667,074	12,044,772
1年内返済予定の長期借入金	2,867,179	2,590,763
未払法人税等	155,833	134,823
賞与引当金	440,590	437,703
事業構造改革引当金	1,579,191	—
その他	3,979,796	4,738,618
流動負債合計	27,243,838	29,718,403
固定負債		
長期借入金	5,836,240	4,212,311
退職給付引当金	66,062	35,111
役員退職慰労引当金	54,920	59,570
資産除去債務	81,075	81,664
その他	2,622,517	2,624,681
固定負債合計	8,660,815	7,013,338
負債合計	35,904,653	36,731,742
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,201,346	13,201,346
資本剰余金	13,803,253	13,803,253
利益剰余金	2,448,093	2,854,473
自己株式	△86,355	△86,355
株主資本合計	29,366,338	29,772,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325,199	573,279
為替換算調整勘定	74,219	3,954,104
その他の包括利益累計額合計	399,418	4,527,383
少数株主持分	673,410	517,418
純資産合計	30,439,166	34,817,521
負債純資産合計	66,343,820	71,549,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	29,151,174	31,585,147
売上原価	23,740,397	23,960,523
売上総利益	5,410,776	7,624,623
販売費及び一般管理費	8,057,877	7,376,922
営業利益又は営業損失(△)	△2,647,100	247,701
営業外収益		
受取利息	21,920	19,569
補助金収入	106,055	—
為替差益	5,913	1,061,454
その他	75,947	173,839
営業外収益合計	209,836	1,254,863
営業外費用		
支払利息	483,262	447,375
支払手数料	13,121	17,625
事業構造改革費用	—	443,012
その他	226,351	147,378
営業外費用合計	722,735	1,055,391
経常利益又は経常損失(△)	△3,160,000	447,172
特別利益		
投資有価証券売却益	5,040	645,691
固定資産売却益	4,325	15,408
関係会社株式売却益	75,698	—
特別利益合計	85,064	661,099
特別損失		
固定資産処分損	59,854	8,653
投資有価証券評価損	115,363	887
減損損失	325,797	—
事業構造改革費用	3,406,129	—
その他	3,770	—
特別損失合計	3,910,915	9,541
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,985,850	1,098,731
法人税等	903,466	540,036
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7,889,317	558,694
少数株主損失(△)	△219,295	△1,736
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,670,021	560,431



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△7,889,317	558,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,003	248,079
為替換算調整勘定	100,012	3,906,705
持分法適用会社に対する持分相当額	4,369	32,906
その他の包括利益合計	101,378	4,187,692
四半期包括利益	△7,787,939	4,746,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,575,400	4,688,397
少数株主に係る四半期包括利益	△212,538	57,989

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△6,985,850	1,098,731
減価償却費	2,416,523	2,952,102
減損損失	325,797	—
のれん償却額	309,932	347,713
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5,901	△31,221
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△35,450	4,650
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△117,269	△54,487
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	737,217	△978,643
事業構造改革引当金の増減額 (△は減少)	2,921,576	△1,579,191
受取利息及び受取配当金	△25,476	△24,337
支払利息	483,262	447,375
株式交付費	813	—
為替差損益 (△は益)	26,716	△750,899
持分法による投資損益 (△は益)	53,430	△4,682
固定資産売却損益 (△は益)	△4,325	△15,408
固定資産処分損益 (△は益)	59,854	8,653
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,040	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△75,698	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△645,691
投資有価証券評価損益 (△は益)	115,363	887
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,080,962	3,643,037
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,260,059	△1,392,777
仕入債務の増減額 (△は減少)	712,328	△466,602
その他	494,243	1,634,719
小計	1,581,144	4,193,928
利息及び配当金の受取額	32,183	37,432
利息の支払額	△486,436	△448,681
法人税等の支払額	△441,585	△403,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	685,305	3,379,015

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,498,576	△2,487,072
有形固定資産の売却による収入	15,152	34,755
投資有価証券の取得による支出	△957	△100,836
投資有価証券の売却による収入	6,212	760,141
関係会社株式の売却による収入	19,807	—
連結子会社株式の追加取得による支出	—	△318,389
関係会社出資金の払込による支出	—	△13,910
貸付けによる支出	△114,634	△808,930
貸付金の回収による収入	96,300	8,139
その他	△165,606	△124,826
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,642,301	△3,050,928
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△605,589	1,609,672
長期借入れによる収入	2,500,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△2,558,062	△2,280,433
リース債務の返済による支出	△61,405	△42,669
自己株式の取得による支出	△57	—
配当金の支払額	△608,732	△154,267
少数株主への配当金の支払額	△26,112	△7,673
その他	△813	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,360,772	△575,371
現金及び現金同等物に係る換算差額	72,076	485,247
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,245,691	237,964
現金及び現金同等物の期首残高	9,560,891	7,373,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,315,199	7,611,102

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	装置関 連事業	太陽電池 関連事業	電子デバ イス事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	14,182,665	9,679,201	3,300,341	27,162,209	1,988,964	29,151,174	—	29,151,174
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	195,415	—	—	195,415	—	195,415	△195,415	—
計	14,378,080	9,679,201	3,300,341	27,357,624	1,988,964	29,346,589	△195,415	29,151,174
セグメント利益 又は損失(△)	211,527	△3,029,798	191,538	△2,626,732	38,698	△2,588,034	△59,066	△2,647,100

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△59,066千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「太陽電池関連事業」セグメントにおきまして、「事業構造改革プラン」の実行に伴う減損損失を計上しており、特別損失の「事業構造改革費用」に含めて表示しています。なお、当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間においては74百万円であります。

また、「装置関連事業」セグメントにおきまして、収益性の低下等により減損の兆候が認められたため、回収可能性を検討した結果、当該固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間においては325百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	装置関 連事業	太陽電池 関連事業	電子デバ イス事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,540,172	9,044,172	4,689,932	29,274,277	2,310,870	31,585,147	—	31,585,147
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	42,214	—	—	42,214	—	42,214	△42,214	—
計	15,582,386	9,044,172	4,689,932	29,316,491	2,310,870	31,627,361	△42,214	31,585,147
セグメント利益又 は損失(△)	141,530	△405,178	491,710	228,063	66,049	294,112	△46,411	247,701

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗  
浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△46,411千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれてお  
ります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。